岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 41

A科:動物科学科　B科:植物科学科　C科:食品科学科　D科:人間科学科　E科:環境科学科

教 科	農業	科 目	畜産	単位数	2	学年・学科	3学年・A科
教科書	実教「畜産」	副教材	新版家畜飼育の基礎、家畜人工授精講習会テキスト、牛の削蹄				

学習目標	○家畜の飼育と畜産経営について理解するとともに、関連する知識・技術を身に付けます。 ○家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けます。 ○家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上につながるよう自ら学び、主体的かつ共同的に取り組む態度を身に付けます。
学習方法	○学習プリントやスライドを活用し授業を行います。 ○演習問題プリントに取り組み理解を深めます。 ○講義及び実技にて、畜産の知識と技術を習得します。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	家畜の飼育と畜産経営について基礎的な知識や技術を身に付け、家畜の飼育と畜産経営の重要性を理解するとともに、技術を適切に活用している。
	b	思考・判断・表現	家畜の飼育と畜産経営に関する課題解決を目指して自ら考え、適切に判断し、自ら解決しようとする能力が身についている。
	c	主体的に学習に取り組む態度	家畜の飼育と畜産経営について興味・関心を持ち、家畜の飼育と畜産経営の現状や課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。

		重み付け	考査	考査外
前期中間		100%	50%	50%
	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	25%	5%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
前期末		100%	50%	50%
	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	25%	5%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
後期中間		100%	50%	50%
	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	25%	5%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
後期末		100%	50%	50%
	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	25%	5%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%

学期	単元名 （題材）	学習内容 （小単元）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	○日本の畜産の特徴と役割 ○動物の生理・生態と飼育環境 ○家畜の飼養、繁殖	○日本の畜産について世界と比較し特徴を学びます。 ○動物の生理・生態と飼育環境について学びます。 ○家畜の飼養、繁殖に関する基礎知識について学びます。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	b：地域環境と安全に配慮した畜産物の生産から消費までの食料供給について自分の考えを述べることができる。 a：一般的な家畜の生理・生態、動物の恒常性について理解している。 c：主な家畜の飼養、繁殖について関心を持ち意欲的に学習に取り組んでいる。	授業プリント 演習プリント 授業態度 発問評価 小テスト 定期考査
前期末	○家畜の生殖器の分類と発生 ○家畜の人工授精技術 ○受精卵移植技術	○家畜の生殖器の特徴と機能について学びます。 ○受精、発生のしくみについて学びます。 ○牛の人工授精の技術について学びます。 ○牛の受精と受精卵移植について学びます。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：牛、豚の生殖器について特徴と機能を理解している。 c：精子、卵子の受精と発生に興味を持つことが出来る。 b：人工授精技術の基礎、基本を理解し受精適期を判断できる。受精卵の発育と移植技術の基礎・基本を理解し移植適期を判断できる。	授業プリント 演習プリント 授業態度 発問評価 小テスト 定期考査
後期中間	○家畜の栄養 ○家畜と飼料	○家畜の栄養と栄養素について学びます。 ○飼料の特性と給与について学びます。	○ ○	○ ○	○ ○	a：家畜の栄養と栄養素について科学的に理解している。主な家畜の消化吸収と栄養素の代謝についてそのしくみを理解している。 b：食料生産における畜産と飼料の関係について、その課題を考えることができる。 c：家畜の栄養と飼料について興味をもつことができる。 a：飼養標準を活用して各家畜の状態に応じた飼料給与を行うことができる。	授業プリント 演習プリント 授業態度 発問評価 小テスト 定期考査
後期末	○牛の肢蹄の構造と機能 ○削蹄	○牛の蹄の構造と機能について学びます。 ○削蹄技術ついて基本的な事項を学びます。	○ ○	○ ○	○ ○	c：牛の体の構造、蹄の構造について興味を持ち学習に意欲的に取り組んでいる。 a：削蹄の意義ついて理解し基本的な知識を身に付けている。 b：蹄管理の良否が牛の健康に及ぼす影響を理解し適切な削蹄時期を判断できる。 a：削蹄に使用する器具についてそれぞれの使い方を理解している。	授業プリント 演習プリント 授業態度 発問評価 小テスト 定期考査